

誰もが生きがいを感じ、 自分らしく暮らしていける街へ



歴史と伝統を未来へ
つなぐ街づくり

経済と環境が
両立する
SDGsしながわ

障がいも高齢者
のある方も
誰もが安心を
実感できる
しながわ

福祉の増進

災害対策の強化

詳しい政策は
中面をご覧ください。

4期16年
はまの区政の
継承と発展

- 人口約7万人増加
- 90%超が「今後も住み続けたい」
- 経済誌において「財政力日本一」

一人ひとりを
支え、伸ばす
子育て・教育
で選ばれる
しながわ

人口の増加

にぎわいの増加

地域活性化

都政の経験を
活かして

▼実績▼

- 待機児童の大幅な減少(約8,000人→約300人)
- 東京都子ども基本条例(他党派との共同提案)

民間のあたりまえ
を区政に

▼経験▼

- 大手不動産会社で街づくりを経験
- ベンチャー企業の立ち上げを経験

区民の声をカタチに

▼実績▼

- 介護サービス約7千人増加
- ソーシャルファーム条例
- 都パートナーシップ制度

※ソーシャルファームとは...
就労に困難を抱える方が多く働きながら自律的な経営を行う企業

7つの重点政策

- ✓子育ての負担を減らす
保育・給食・医療3つの無償化
- ✓児童虐待ゼロ社会へ
おむつ宅配などでつながり強化
- ✓障がい者も認知症高齢者も地域で安心
グループホーム200名分整備
※障がい者向け100名+認知症高齢者向け100名

- ✓負担を減らし、福祉を増やす
区役所建替え費用200億円軽減
- ✓世界標準の開業率10%へ
産業創造拠点を整備し、
地域経済活性化
- ✓医療専門職を登用し
コロナ第8波に万全の備えを
- ✓区長給与・退職金2割カット
区政の見える化やデジタル化を推進



もっと詳しく▶

+a 羽田新飛行ルート対策 全区民アンケート+固定化回避を国に要望

再選挙って
1億8千万円もかかるのか...
再再選挙はイヤだな...

私の大切にしている政策
誰が叶えてくれるかな?

品川区長選挙投票マッチング 検索

東京都と連携できる
区長になったら
明るい街づくりが
進みそう!

えっ、
3人に1人しか
投票してないの!?

※10月の区長選挙の
投票率は約35%

新しいリーダーを
自分の1票で決められるって
ステキ!

今の区政の
良いところは
継承してほしい!

※区民アンケートで
「住み続けたい」人が約9割



新時代のしながわへ
そうだ!
投票にいこう。

11月28日①から12月3日②

朝8時30分から夜8時まで

期日前投票が行われます。

期日前投票は手ぶらで。

品川区役所 or 区内13の
地域センター

どこでも投票できます。

品川区長選挙(再選挙)

投票日 12月4日③



#品川区長選挙 #再選挙 #プロジェクト40 #新時代のしながわへ
#投票にいこう #多様性 #継承と発展 #女性区長とともに



発行元/チーム品川みらい 品川区西五反田7-13-5 DK五反田403 ☎03-5759-4555 ✉team.shinagawa.mirai@gmail.com
【配布責任者】柳沢静子 品川区大井1-11-6 寺崎ビル5階 【印刷者】株式会社Area82 町田市旭町3-11-9 町田AXIS101 【品川区長選挙 雑誌の発行部数1号】

誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていける品川へ

1 一人ひとりを支え、伸ばす 子育て・教育で選ばれるしながわ

子育て支援 教育改革

- 保育、給食、医療の3つの無償化^{※1}で、子育ての負担を減らします。
- 国・都との連携で、出産費用の実質無償化^{※2}を目指します。
- 0歳児へのおむつ宅配(無料)で見守りとつながりを強化します。
- すまいるスクールに仕出し弁当を導入し、子育て家庭の負担を減らします。
- 小中一貫校の環境を活かした先端教育の導入で、一人ひとりを伸ばします。
- タブレットの有効活用で、一人ひとりの能力や特性に合わせた学びを支援します。
- フリースクール等と連携して、学校に通えない子ども達の多様な学びを支えます。
- いじめの早期発見と早期解決のための専門部署を設置し、子どもたちが安心して、通える学校を目指します。
- 子ども自身による校則会議を作り、ブラック校則を見直します。

※1 第二子以降の保育料、小中学校給食費、高校生までの医療費の無償化

※2 都では、一人あたり10万円相当の出産応援事業が行われ、国では更なる支援が検討されています。



2 高齢者も障がいのある方も 誰もが安心を実感できるしながわ

高齢者福祉 障がい者福祉

- 介護サービスの定員を増やし、一人暮らしの高齢者も安心の環境をつくります。
- フレイル・認知症に関する専門部署を設置し、健康長寿社会を目指します。
- タクシーチケットやオンデマンド交通で、高齢者の移動を支援します。
- こども食堂やシニア食堂、一人暮らしの高齢者への配食サービスを支援し、多世代交流と見守りを強化します。
- 障がい者グループホームを増やし、親なき後の障がい者の暮らしを支えます。
- 発達障害の子どもも含めた療育環境を整備して、一人ひとりの成長を支えます。
- 障がいのある方やシニア、ひとり親が働きやすい環境をつくります。
- 新区役所に障がい者就労カフェを設置し、共生社会の実現を目指します。
- 東京都パートナーシップ制度を活用し、LGBTQフレンドリーな社会を目指します。
- 殺処分ゼロ協力店制度の創設や地域猫活動の支援で動物福祉を高めます。



3 歴史と伝統を未来へつなぐ街づくり 経済と環境が両立するSDGs しながわ

地域活性化 防災・減災

- プレミアム商品券やデジタル地域通貨などで商店街を応援し、地域経済を元気にします。
- 東京と地方、世界をつなぐ産業創造拠点を整備し、イノベーションを生み出します。
- 女性の再就職や起業支援により、自分らしい働き方を後押しします。
- 歴史・文化・アート・水辺空間を活かし、人と街のつながりを生み出します。
- 東京都や周辺自治体と連携して、スポーツ・eスポーツ、ライブ・エンタメを盛り上げます。
- 自然豊かな環境を活かすとともに、アクセス向上をはかり、八潮地域の持続可能な街づくりを目指します。
- 区有施設における再生可能エネルギーの導入を進めます。
- 危機管理専門官を中心に、地震や風水害、感染症等に強い安全な街づくりを進めます。
- マンション防災の推進や避難所運営マニュアルの見直しで、災害に備えます。

4 区民とともに進める 新時代のしながわ

デジタル化 区民負担の軽減

- 官民連携手法の導入で、区役所建替えにかかる区民負担を実質200億円減らします。
- 区民による区役所跡地検討委員会を設置し、区民ニーズを叶える街づくりを進めます。
- 事業評価による無駄の削減で、年間1%(約20億円)の財源確保を目指します。
- 民間からデジタル専門人材を登用し、区役所サービスの利便性を高めます。
- アプリ等を活用し、区役所に来なくても申請ができる仕組みを目指します。
- 東京都の取組を参考に、区民の声が直接届く政策提案制度をつくります。
- 羽田新飛行ルートについては、全区民アンケートを行い、その声をもとに早急な固定化回避も含む具体的な解決策を国に働きかけます。
- 医療専門職を登用し、新型コロナ第8波への対応など感染症対策を強化します。
- 物価高騰対策として、区独自に子育て3つの無償化や高齢者向け配食サービスを進めるとともに、国や都と連携して電気代やガス代など生活困窮者の暮らしを支援します。



チーム品川みらいと一緒に
女性区長候補を応援しよう!

LINEは
こちら▶

